

様式1 令和2年度 山梨県立身延高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 「学び」の学校づくりを推進し、「文武両道」の実現を図り、活力ある学校づくりを進める。さらに、地域とともにあり、信頼される学校づくりを推進する

山梨県立身延高等学校校長 佐野 隆弥

本年度の重点目標	1 自主的創造的な学習態度の育成
	2 剛健の気風と豊かな人間性の育成
	3 規律節制を守る自律的生活態度の育成
	4 魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			
本年度の重点目標		年度末評価(3月18日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	自主的創造的な学習態度の育成	① 適切な宿題・課題、ICTの活用による家庭学習時間の確保と習慣化を目指す。	各教科の連携による適切な家庭学習課題を与え、継続的に取り組ませる。(家庭学習時間調査)
		② 年次目標や進路目標に応じて行事・講師を精選し、質の高い講演会を効果的な時期に実施する。	進路目標に応じた各種ガイダンスを設定し、進路意識を高めるきっかけとさせる。(生徒の満足度)
		③ ポートフォリオ導入など適切な進路情報の提供と、進路目標に応じたきめ細かな指導を行い、進路志望実現率を向上させる。	的確な進路志望の把握と進路目標に応じた学習環境の提供により意中の進路を実現させる。(進路実現率)
		④ 英検・漢検の受検を奨励し、家庭学習と連動させる。	検定の案内を掲示して呼びかけるとともに課外等を実施し、合格者増を目指す。(英検・漢検合格者数)
2	剛健の気風と豊かな人間性の育成	① 本校の実情にあった部活動や委員会のあり方を検討するとともに、活動状況を把握する。	教員数減に伴う部の見直しを図るとともに、生徒の状況を把握して指導を行う。(部活動・委員会活動満足度)
		② 部活動への参加を促進する。	部活動への参加状況を調査する。(部活動への加入率)
3	規律節制を守る自律的生活態度の育成	① 頭髪・服装検査、規律週間等を通して社会に出ても信頼される身だしなみを指導する。	共通理解のもとで、組織的かつ継続的に実施する。(検査実施毎の違反者数)
		② スマートフォン等の正しい活用方法を指導し、SNS上のトラブルが生じないよう指導する。	年次やスクールライフ部の記録で確認する。
4	魅力づくりに努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりの推進	① 学校運営協議会において、学校の教育方針を伝えると同時に、地域の方から建設的な意見を伺い、信頼される学校づくりに取り組む。	学校運営協議会の開催回数や、伺った意見のうち取り入れて改善した項目数で判断する。
		② 魅力的なHPや情報誌の作成を進め、地域・保護者や中学生に学校の様子を発信・公開する。	HP更新・情報誌発行など広報活動を充実させ、説明責任を果たす。(HP更新・情報誌発行状況)

学校関係者評価	
実施日(令和3年3月22日)	
評価	意見・要望等
3	読書活動の充実や家庭学習時間の確保が何を目的としているのか(どのような資質能力の向上を目指しているのか)についての共通理解を持つ必要があるように思います。部活動の時間と家庭学習時間・読書時間・家庭以外での授業時間外の学習時間(塾や通学中の学習時間も含まれます)などを総合的に捉え、例えばどの年次はどの程度が最適なのかを見出していかなければ、取り組みの成果も見えにくいのではないのでしょうか。家庭学習時間について、定義を定めたほうが、生徒も回答しやすいと思います。キャリア教育に取り組むことにより、将来の進路が明確になることはとても良いことだと思いますが、一方、大学へ進学した後に進路を決定したい生徒もいると思います。ある程度進路を絞らずにいることもいいのではないかと感じました。
4	全教職員が『日常の学校生活の中でカウンセリングマインドをもって、生徒と接している』と回答している。この意識を大切にしたい。
3	毎朝、校門において見守活動を行っている姿を見ます。大変な業務ですが、生徒指導上大切なことと考えます。担当の先生方、ご苦労様です。
3	コロナ蔓延防止のため諸活動の中止や縮小措置がとられ、十分な連携をとることができなかったところもありますが、感染防止措置を徹底しながら行事を進めていただけた点は評価できると思います。学校運営協議会に身延町・南部町・早川町教育委員会の担当者を加えることで、主たる連携対象を明確化しているものと思えます。キャリア教育をベースとした中高連携と地域活性化のための高大連携事業は、他の学校にはない魅力あるプロジェクトと考えます。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。